



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月29日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03)3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	11,378	5.9	1,802	4.8	1,865	4.5	970	△2.8
22年3月期第1四半期	10,748	13.4	1,719	24.5	1,784	20.9	997	△19.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	34 27	—
22年3月期第1四半期	35 25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	83,912	74,957	89.3	2,648 47
22年3月期	85,637	74,641	87.2	2,637 30

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 74,957百万円 22年3月期 74,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	18 00	—	22 00	40 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	20 00	—	20 00	40 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,700	1.1	2,200	△37.1	2,300	△36.3	1,200	△41.4	42 40
通期	43,800	3.3	4,000	△34.7	4,200	△34.1	2,200	△39.6	77 73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	28,800,000株	22年3月期	28,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	497,635株	22年3月期	497,562株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	28,302,380株	22年3月期1Q	28,302,974株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の業績等に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
	(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3.	四半期財務諸表	5
	(1) 四半期貸借対照表	5
	(2) 四半期損益計算書	6
	【第1四半期累計期間】	6
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
	(4) 継続企業の前提に関する注記	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の売上高は、11,378百万円と前年同期に比べ629百万円(5.9%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、本年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり1,559百万円と前年同期に比べ531百万円(25.4%)減少しましたが、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は1,948百万円と前年同期に比べ490百万円(33.7%)増加した他、平成21年3月に販売を開始しました「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は1,618百万円と前年同期に比べ945百万円(140.3%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は4,629百万円と前年同期に比べ619百万円(15.4%)増加し、販売費及び一般管理費は4,945百万円と前年同期に比べ72百万円(1.5%)減少しました。

以上の結果、営業利益は1,802百万円と前年同期に比べ83百万円(4.8%)増加し、経常利益は1,865百万円と前年同期に比べ80百万円(4.5%)増加しました。四半期純利益につきましては970百万円と前年同期に比べ27百万円(2.8%)減少しております。これは、当第1四半期会計期間において「資産除去債務に関する会計基準」を適用したことによる特別損失の計上によるものです。

なお、本年7月、スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬の国内第Ⅲ相臨床試験の実施を決定するとともに、当社とJTが、米国ケリックス・バイオフィーマシューティカルズ社から導入し、国内で共同開発を進めております高リン血症治療薬「JTT-751(JT開発番号)」につきましても、第Ⅲ相臨床試験への移行を決定しました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、83,912百万円と前事業年度末に比べ1,725百万円(2.0%)減少しました。これは、有価証券は5,500百万円、受取手形及び売掛金は863百万円増加しましたが、現金及び預金は5,260百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は2,745百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、8,954百万円と前事業年度末に比べ2,041百万円(18.6%)減少しました。これは、未払法人税等が1,203百万円、賞与引当金が523百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、74,957百万円と前事業年度末に比べ315百万円(0.4%)増加しました。これは、主に利益剰余金が347百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、28,900百万円と前事業年度末に比べ6,505百万円(18.4%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が1,715百万円、減価償却費が333百万円となりましたが、売上債権の増加額が863百万円、法人税等の支払額が1,901百万円となったこと等により1,097百万円の支出となりました。(前第1四半期会計期間は578百万円の支出)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が4,500百万円、有価証券の償還による収入が3,687百万円となりましたが、有価証券の取得による支出が8,795百万円、定期預金の預入による支出が3,000百万円となったこと等により4,767百万円の支出となりました。(前第1四半期会計期間は1,276百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が622百万円となったことにより640百万円の支出となりました。(前第1四半期会計期間は614百万円の支出)

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成22年4月28日「平成22年3月期決算短信(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。税引前四半期純利益は143百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は152百万円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,910	12,171
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	27,990	30,735
受取手形及び売掛金	17,285	16,422
有価証券	10,197	4,697
商品及び製品	3,513	4,109
仕掛品	422	314
原材料及び貯蔵品	1,346	1,169
その他	906	905
流動資産合計	68,573	70,524
固定資産		
有形固定資産	6,178	6,300
無形固定資産	705	676
投資その他の資産	8,454	8,135
固定資産合計	15,338	15,112
資産合計	83,912	85,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,723	3,776
未払法人税等	770	1,973
賞与引当金	589	1,113
役員賞与引当金	10	37
返品調整引当金	3	3
その他	2,576	2,865
流動負債合計	7,674	9,770
固定負債		
退職給付引当金	750	828
その他	529	396
固定負債合計	1,280	1,225
負債合計	8,954	10,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	63,995	63,648
自己株式	△856	△855
株主資本合計	74,745	74,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	211	243
評価・換算差額等合計	211	243
純資産合計	74,957	74,641
負債純資産合計	83,912	85,637

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	10,748	11,378
売上原価	4,010	4,629
売上総利益	6,738	6,748
販売費及び一般管理費		
販売促進費	813	806
給料及び手当	1,086	1,101
賞与引当金繰入額	492	497
研究開発費	449	411
その他	2,176	2,128
販売費及び一般管理費合計	5,018	4,945
営業利益	1,719	1,802
営業外収益		
受取利息	51	35
受取配当金	15	16
為替差益	—	7
その他	6	10
営業外収益合計	73	69
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	2	—
その他	5	6
営業外費用合計	7	7
経常利益	1,784	1,865
特別損失		
固定資産除却損	15	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	143
特別損失合計	15	149
税引前四半期純利益	1,769	1,715
法人税等	771	745
四半期純利益	997	970

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,769	1,715
減価償却費	321	333
受取利息及び受取配当金	△66	△51
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	15	6
売上債権の増減額(△は増加)	△1,375	△863
たな卸資産の増減額(△は増加)	11	309
仕入債務の増減額(△は減少)	△695	△53
未払金の増減額(△は減少)	141	△154
その他	△244	△509
小計	△123	732
利息及び配当金の受取額	74	72
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△528	△1,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	△578	△1,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△3,000
定期預金の払戻による収入	—	4,500
有価証券の取得による支出	—	△8,795
有価証券の売却及び償還による収入	697	3,687
有形固定資産の取得による支出	△122	△199
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△38	△59
投資有価証券の取得による支出	△814	△900
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,276	△4,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△594	△622
リース債務の返済による支出	△20	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△614	△640
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,469	△6,505
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,517	28,900

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。



2011年3月期 第1四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P. 1	1. 四半期貸借対照表	P. 5
2. 財政状態	P. 1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P. 8
1. 四半期損益計算書	P. 2			
2. 製商品売上高	P. 3			
3. 売上原価	P. 4			
4. 減価償却費	P. 4			
5. 研究開発費	P. 4	【予想数値に関する注意事項】	P. 8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

2010年7月29日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

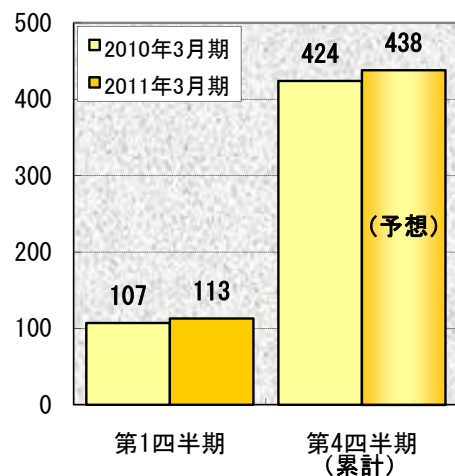
(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前年同期増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)	
売上高	10,748	21,469	33,073	42,416	11,378	629	(5.9)
営業利益	1,719	3,494	5,668	6,125	1,802	83	(4.8)
経常利益	1,784	3,611	5,860	6,371	1,865	80	(4.5)
四半期(当期)純利益	997	2,046	3,318	3,642	970	△27	(△2.8)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	35.25	72.31	117.25	128.69	34.27	△0.98	(△2.8)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	1.4	2.8	4.5	5.0	1.3	△0.1	—
総資産経常利益率(%)	2.2	4.4	7.1	7.6	2.2	0.0	—
売上高営業利益率(%)	16.0	16.3	17.1	14.4	15.8	△0.2	—

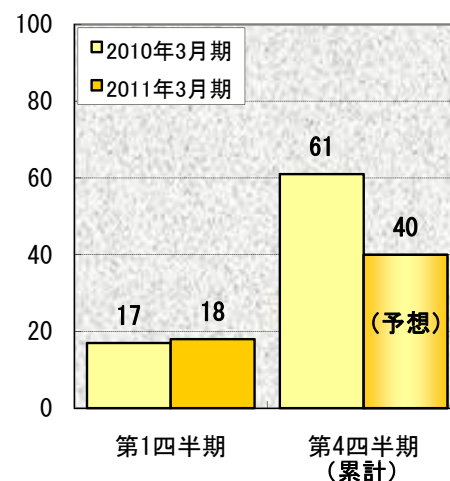
(単位：百万円)

2011年3月期予想		対前期増減(率：%)	
売上高	43,800	1,383	(3.3)
営業利益	4,000	△2,125	(△34.7)
経常利益	4,200	△2,171	(△34.1)
四半期(当期)純利益	2,200	△1,442	(△39.6)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	77.73	△50.96	(△39.6)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	—	—	—
総資産経常利益率(%)	—	—	—
売上高営業利益率(%)	—	—	—

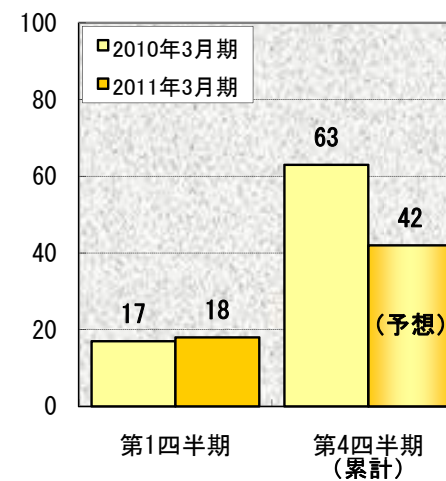
売上高(億円)



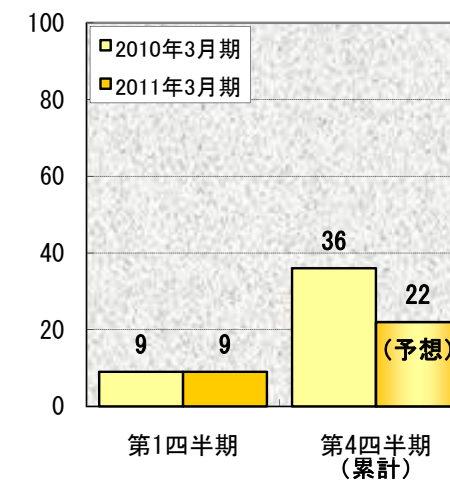
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前期末増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前期末増減(率：%)	
総資産	81,467	83,066	84,297	85,637	83,912	△1,725	(△2.0)
純資産	72,485	73,558	74,305	74,641	74,957	315	(0.4)
自己資本比率(%)	89.0	88.6	88.1	87.2	89.3	2.2	—
1株当たり純資産(円)	2,561.07	2,599.00	2,625.40	2,637.30	2,648.47	11.17	(3.4)

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2010年3月期	2011年3月期		2010年 3月期	対前年同期増減要因
	第1四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)		
売上高	10,748	11,378	629 (5.9)	42,416	【製商品売上高】 《増加要因》・ツルバダ配合錠、レミッチカプセルの伸張 《減少要因》・注射用フサンの減少
製商品売上高	10,670	11,312	642 (6.0)	42,133	
不動産賃貸収入	78	65	△12 (△16.3)	282	
売上原価	4,010	4,629	619 (15.4)	15,984	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加等
製商品売上原価	3,990	4,611	620 (15.6)	15,905	
不動産賃貸原価	19	18	△1 (△8.1)	79	
売上総利益	6,738	6,748	10 (0.2)	26,431	
販売費及び一般管理費	5,018	4,945	△72 (△1.5)	20,306	
営業利益	1,719	1,802	83 (4.8)	6,125	
営業外収益	73	69	△3 (△4.6)	262	
営業外費用	7	7	△0 (△7.1)	16	
経常利益	1,784	1,865	80 (4.5)	6,371	
特別利益	—	—	—	—	【特別損失】 《増加要因》・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響
特別損失	15	149	133 (867.6)	30	
税引前四半期(当期)純利益	1,769	1,715	△53 (△3.0)	6,340	
法人税等	771	745	△25 (△3.3)	2,698	
四半期(当期)純利益	997	970	△27 (△2.8)	3,642	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)

品名	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期		2010年 3月期	2011年3月期予想				
		第1四半期	対前年同期増減(率：%)		対前期増減(率：%)				
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤 (抗HIV薬)	1,457	1,948	490	(33.7)	6,138	7,590	1,451	(23.6)
レミッチカプセル	経口そう痒症改善剤	673	1,618	945	(140.3)	3,556	6,210	2,653	(74.6)
アンテベート ※	外用副腎皮質ホルモン剤	1,575	1,618	42	(2.7)	5,977	6,030	52	(0.9)
注射用フサン ※	蛋白分解酵素阻害剤	2,090	1,559	△ 531	(△ 25.4)	7,863	6,530	△ 1,333	(△ 17.0)
ユリノーム錠 ※	尿酸排泄薬 (痛風治療剤)	933	882	△ 50	(△ 5.5)	3,626	3,500	△ 126	(△ 3.5)
セロトーン	制吐剤	666	565	△ 101	(△ 15.2)	2,539	1,950	△ 589	(△ 23.2)
ドボネックス軟膏	尋常性乾癬治療剤	457	475	18	(4.0)	1,721	1,820	98	(5.7)
ビオスリー	活性生菌製剤 (整腸剤)	352	385	32	(9.2)	1,438	1,510	71	(5.0)
ゼフナート	抗真菌薬	377	380	3	(0.8)	1,340	1,440	99	(7.4)
ロコイド ※	外用副腎皮質ホルモン剤	342	366	23	(6.9)	1,222	1,130	△ 92	(△ 7.5)
ウブレチド錠 ※	コリンエステラーゼ阻害薬	498	272	△ 226	(△ 45.3)	1,844	1,230	△ 614	(△ 33.3)
マグセント注	子宮収縮抑制剤	223	272	49	(22.0)	1,015	1,070	54	(5.3)
その他		1,243	966	△ 53	(△ 5.2)	3,847	3,550	△ 297	(△ 7.7)
計		10,670	11,312	642	(6.0)	42,133	43,560	1,426	(3.4)
(注) 自社品には、品名に※を付しております。									
【参考】	自 社 品 売 上 高	5,905	5,181	△ 724	(△ 12.3)	22,338	20,350	△ 1,988	(△ 8.9)
	自 社 品 比 率 (%)	55.3	45.8	△ 9.5	—	53.0	46.7	△ 6.3	—

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	
	第1四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)
売上高	10,748	11,378	629 (5.9)
売上原価	4,010	4,629	619 (15.4)
売上原価率(%)	37.3	40.7	3.4 —

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
42,416	43,800	1,383 (3.3)
15,984	17,500	1,515 (9.5)
37.7	40.0	2.3 —

4. 減価償却費

(単位：百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	
	第1四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)
不動産賃貸原価	10	9	△0 (△8.2)
販売費及び一般管理費	108	110	2 (2.3)
製造費用	201	212	10 (5.4)
計	321	333	12 (3.9)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
43	37	△6 (△14.5)
455	465	10 (2.4)
910	826	△83 (△9.2)
1,409	1,330	△78 (△5.6)

5. 研究開発費

(単位：百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	
	第1四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)
研究開発費	449	411	△38 (△8.5)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
1,613	3,174	1,560 (96.8)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存製品の剤型改良や効能追加等の機能を担うとともに、当社が得意とする領域の開発に参画・実施しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第1四半期		2010年 3月期 第1四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率：%)		
(資産の部)					
流動資産	70,524	68,573	△ 1,951 (△ 2.8)	64,775	
現金及び預金	12,171	6,910	△ 5,260	5,072	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	30,735	27,990	△ 2,745	32,448	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
受取手形及び売掛金	16,422	17,285	863	15,848	
有価証券	4,697	10,197	5,500	5,197	【有価証券】 《増加要因》・金融商品の取得等
たな卸資産	5,592	5,282	△ 309	5,218	
その他	905	906	0	988	
固定資産	15,112	15,338	226 (1.5)	16,691	
有形固定資産	6,300	6,178	△ 121 (△ 1.9)	6,412	
建物	3,479	3,428	△ 50	3,634	
機械及び装置	1,731	1,622	△ 109	1,503	
土地	702	702	—	702	
その他	387	425	38	571	
無形固定資産	676	705	29 (4.3)	639	
投資その他の資産	8,135	8,454	318 (3.9)	9,639	
投資有価証券	2,876	3,323	446	2,837	
長期前払費用	3,736	3,599	△ 137	4,200	
その他	1,554	1,564	10	2,633	
貸倒引当金	△ 31	△ 31	—	△ 32	
資産合計	85,637	83,912	△ 1,725 (△ 2.0)	81,467	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第1四半期		2010年 3月期 第1四半期
		対前期末増減(率：%)		
(負債の部)				
流動負債	9,770	7,674	△ 2,095 (△ 21.5)	7,674
買掛金	3,776	3,723	△ 53	3,453
未払法人税等	1,973	770	△ 1,203	786
賞与引当金	1,113	589	△ 523	589
その他	2,906	2,590	△ 316	2,845
固定負債	1,225	1,280	54 (4.5)	1,306
退職給付引当金	828	750	△ 77	829
その他	396	529	132	477
負債合計	10,995	8,954	△ 2,041 (△ 18.6)	8,981
(純資産の部)				
株主資本	74,398	74,745	347 (0.5)	72,264
資本金	5,190	5,190	—	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	—	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	63,648	63,995	347	61,513
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	7	6	△ 0	8
別途積立金	58,630	61,130	2,500	58,630
繰越利益剰余金	3,713	1,561	△ 2,152	1,577
自己株式	△ 855	△ 856	△ 0	△ 855
評価・換算差額等	243	211	△ 31 (△ 12.9)	221
その他有価証券評価差額金	243	211	△ 31	221
純資産合計	74,641	74,957	315 (0.4)	72,485
負債純資産合計	85,637	83,912	△ 1,725 (△ 2.0)	81,467

対前期末増減要因

【未払法人税等】
《減少要因》・法人税等の支払

【賞与引当金】
《減少要因》・夏季賞与の支払

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2010年	2011年3月期	対前年同期増減	2010年
	3月期 第1四半期	第1四半期		3月期
税引前四半期(当期)純利益	1,769	1,715	△ 53	6,340
減価償却費	321	333	12	1,409
受取利息及び受取配当金	△ 66	△ 51	15	△ 219
売上債権の増減額(△は増加)	△ 1,375	△ 863	512	△ 1,949
たな卸資産の増減額(△は増加)	11	309	298	△ 362
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 695	△ 53	642	△ 371
利息及び配当金の受取額	74	72	△ 2	206
法人税等の支払額	△ 528	△ 1,901	△ 1,373	△ 1,459
その他	△ 87	△ 658	△ 570	1,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 578	△ 1,097	△ 518	4,998
定期預金の預入による支出	△ 1,000	△ 3,000	△ 2,000	△ 13,500
定期預金の払戻による収入	—	4,500	4,500	7,500
有価証券の取得による支出	—	△ 8,795	△ 8,795	△ 3,992
有価証券の売却及び償還による収入	697	3,687	2,989	1,693
有形固定資産の取得による支出	△ 122	△ 199	△ 76	△ 1,067
有形固定資産の売却による収入	—	0	0	2
無形固定資産の取得による支出	△ 38	△ 59	△ 21	△ 216
投資有価証券の取得による支出	△ 814	△ 900	△ 85	△ 814
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0	△ 0	4
その他	△ 0	△ 1	△ 1	△ 6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,276	△ 4,767	△ 3,491	△ 10,396
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	0	△ 1
配当金の支払額	△ 594	△ 622	△ 28	△ 1,103
リース債務の返済による支出	△ 20	△ 17	2	△ 77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 614	△ 640	△ 25	△ 1,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,469	△ 6,505	△ 4,036	△ 6,580
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406	△ 6,580	41,987
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	39,517	28,900	△ 10,616	35,406

対前年同期増減要因

【法人税等の支払額】
《減少要因》・前年同期：旧土気研究所跡地の売却に伴う法人税負担の減少(評価損の損金算入)

【配当金の支払額】
《減少要因》・期末配当金の増加

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネジメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2010年 3月期 第1四半期	2011年3月期		2010年 3月期	2011年3月期予想	
		第1四半期	対前年同期増減(率：%)			対前期増減(率：%)
有形固定資産(注1)	342	145	△ 196 (△ 57.4)	1,160	587	△ 573 (△ 49.4)
無形固定資産(注2)	26	92	65 (243.6)	240	308	68 (28.4)
計	368	237	△ 130 (△ 35.5)	1,401	896	△ 504 (△ 36.0)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、主に業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク